

苫小牧市の下水汚泥等における放射性物質の検査結果について

苫小牧市の下水処理センターから発生する、脱水汚泥・コンポストの放射性物質の測定を実施いたしました。結果につきましては、いずれも放射性物質が検出されませんでした。

このことから、苫小牧市の脱水汚泥・コンポストは環境への影響もなく、安心してご利用いただけます。

単位：Bq(ベクレル)/kg

採取日	施設名	採取場所	放射性ヨウ素	放射性セシウム	
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
平成24年 4月 3日	西町	脱水汚泥	不検出	不検出	不検出
平成24年 4月 3日	勇払	コンポスト汚泥	不検出	不検出	不検出

※測定方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマー線スペクトロメリーによる核種分析法。

※検出限界値は、20Bq(ベクレル)/kg

※不検出とは、測定機器が検出限界値20Bq(ベクレル)/kg未満であることを示す。

※測定機関：一般財団法人 北海道薬剤師会公衆衛生検査センター。

農林水産省の「放射性セシウムを含む肥料・土壌改良資材・培土及び飼料の暫定許容値の設定について」では、肥料・土壌改良資材・培土中に含まれることが許容される最大値は400Bq(ベクレル)/kgとなっています。

今後につきましては、苫小牧市及び北海道が実施している「空間放射線量率」の測定結果を注視しながら対応をしていきます。